

介護者が抱える負担やストレス

1. 日本の在宅介護に対する考え方の変化
2. 在宅介護の現状
3. 介護者が抱えるストレス 1)・2)
4. 家族関係と介護の問題 1)・2)
5. 介護ストレスの影響と高齢者虐待の関係
6. まとめ

1. 日本の在宅介護に対する考え方の変化

高齢化社会の到来

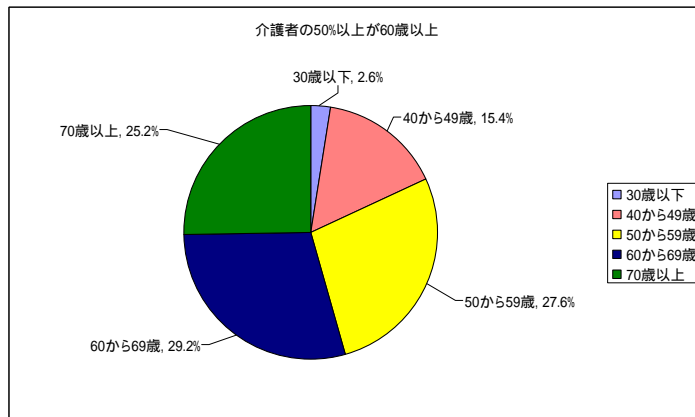
- ・ 1970年：高齢化社会（65歳以上の人口が7%以上）
高度成長期

恍惚の人（有吉佐和子）新潮文庫 1972

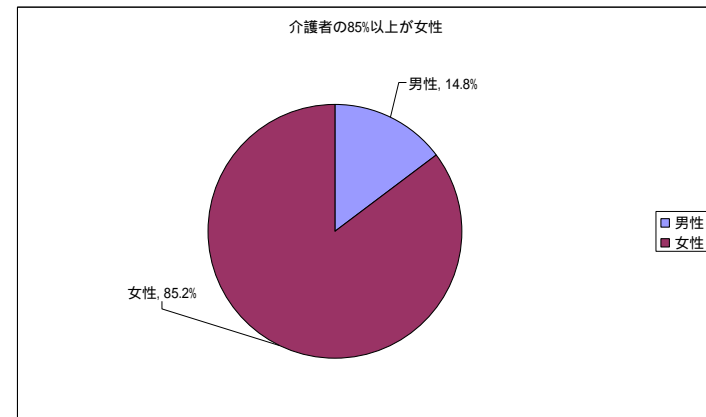
- ・ 1994年：高齢社会（65歳人口が14%以上）
バブル経済崩壊

黄落（佐江衆一）新潮文庫 1995

2. 在宅介護の現状



介護者の50%以上が60歳以上
(老老介護の進行)



介護者の80%以上が女性

3 . 介護者が抱えるストレス

1) 介護者自身の(身体と心の)健康

身体の不調

(身体が疲れやすい、肩や首がこる)

睡眠不足、不眠

イライラ感

将来に対する不安感

自分の生活の犠牲感

3 . 介護者が抱えるストレス

2) 介護に関わる人たちの家族関係

被介護者との関係(続柄)

家庭内での人間関係やその他の
親戚との関係

4 . 家族関係と介護の問題

1) 女性全般の問題

- 女性に対する介護の押しつけ

介護は女性の仕事である。

女性の方が感情理解、母性愛がある。

4 . 家族関係と介護の問題

2) 嫁姑、親子間の問題

嫁と姑の場合:

伝統的家族観・夫婦観

嫁は介護をして当たり前

夫の親の面倒をみるのが嫁として夫に対する愛情表現

母親と息子では、お互いに羞恥心を持つことが多い。

母親としては、息子に入浴・排泄介助をさせられない。

4 . 家族関係と介護の問題

2) 嫁姑、親子間の問題

親と子の場合

娘が親の介護をすると何が起こるのか

- ・親が権威やわがママをふりかざす
- ・夫に対する遠慮
- ・義理の姉妹に対する不満

5. 介護ストレスの影響と 高齢者虐待の関係

- 在宅での親族等による虐待の増加傾向
- 強い義務感から介護を家族がかかえこんでいるケース
- 介護の長期化が心ならずも虐待に走らせる。

6. まとめ(在宅介護のストレス)

- 介護ストレスは身体的ストレスや社会的な圧力などの心理的ストレスがある。
- 心理的ストレスの多くは女性に集中しており、家族関係や女性への先入観と関わりが深い。
- 介護ストレスは、高齢者虐待にもつながる危険性がある。